

進路通信

2021年 第6号 10月9日(土) 発行

2学期中間試験が行われます

10月12日(火)から15日(金)に2学期中間試験が行われます。9月、緊急事態宣言下での学校再開となり、思うように授業が行えず、うまく勉強モードに切り替えられなかった人もいるかもしれません。しかし、気づいたらもう中間試験です。時間は皆に平等に与えられていますが、それをどう使っていくかは自分次第です。

何もしないうちに次は期末試験になっていた!なんていうことになっていないよう、動画での授業なども繰り返し視聴し、良い結果につながるよう準備してください。頑張った結果も自分に返ってきますし、やらなかった結果も自分に返ってきます。行動に移せる人になりましょう。

文理選択・科目選択

高1生は文理選択、高2生は科目選択が行われます。どちらとも今後の進路を決めていく大切な選択になります。

まだ迷っている人もいますが、安易に「理系科目が苦手だから文系にしよう」と決めてしまうと選択肢が狭まってしまうことがあります。まずは「社会とのかかわり」という視点で一度考えてみてください。

社会に必要な職業は、時代と共に変わっていきます。特にこれからはAIやロボットに関する技術が発達し、新しい職業が生まれやすく、今ある職業がなくなりやすくなると言われていていますね。一生同じ職業で働き続けるとは限りません。そうだとしたら、職業のことだけ考えるよりも、社会に出てからどう生きたいか、どう社会の役に立ちたいか、「社会とのかかわり」を考えたいか、進路を決めてみてはどうでしょうか。

自分に合った社会とのかかわり方を探すのに、身近なニュースから気になるものがないか探し

てみたり、自分の好きなことや興味のあることをもう一度よく考えてみてください。インターネット等ですぐに詳しい内容が調べられる時代です。先生や家族に頼らきらず、自分の進路は自分で最後は決めましょう。そのほうがこれからの長い人生、さまざまな変化に直面しても後悔せず進んでいけるはずです。

進研模試が実施されます

11月8日(月)に第2回模擬試験(進研模試)が行われます。高1生にとっては高校に入ってから2回目の全国模試となります。おそらく、1回目の模試の結果に驚いた人も多いと思います。高2生は現在の自分の全国での位置や、得点力の弱い科目・分野が見えてきたと思います。

先生と面談するなどして、模試の振り返りはしっかり行えたでしょうか。また、前回の進路通信で、模試が返却された後にやっておくべきこと

①偏差値よりも素点に注目せよ!

②とにかく反復練習せよ!

の2点を示しましたが、実行に移せましたか。

次の模試に向けて、自分の得点力が弱いところを確認しておきましょう。また、時間配分にも注意して解ききれるようにしていきたいですね。



初級レベル 抜け駆け(ぬけがけ) = outrun
→こっそり先に飛び出して、てがらをたてること。

標準レベル 足切り(あしきり)
= cut off

→ 基準以下の者を切り捨てる。

発展レベル 最後通牒(さいごつうちょう)
= ultimatum

→ 交渉の決裂も辞さないという態度で、相手に一方的に示す最終的な要求。